

# 令和2年度方面隊統制演習場春季整備及び令和2年度前期長池演習場整備 任務完遂!



表土をドーザーにより掘削・運土



トータルステーションにより測量する女性自衛官



第4施設団長(右から2番目)の現地指導



油圧ショベルによる法面成形



グレーダーによる幹線道路整備

大久保駐屯地に所在する部隊は、令和2年4月13日(月)から22日(木)までの間、駐屯地含む あいば野、日本原、長池等の演習場において、令和2年度方面隊統制演習場春季整備及び令和2年度前期長池演習場整備を実施しました。

今回の演習場整備は、新型コロナウイルスが感染拡大する中での整備作業でしたが、各部隊及び隊員一人ひとりが感染症対策を徹底し、無事に任務を完遂することが出来ました。



発行：大久保自衛隊協力会  
陽融会  
大久保駐屯地桃友会  
45会  
編集：駐屯地司令業務室  
印刷：進見堂印刷

駐屯地司令要望事項

即応と信頼

紙面紹介

- 1 面
  - ・演習場整備
  - ・大久保駐屯地桃友会新会長就任
  - ・1/四半期号トピック
  - ・Twitter開設
  - ・夏まつり中止報告
- 2 面
  - ・各部隊訓練等記事
- 3 面
  - ・各部隊訓練等記事
- 4 面
  - ・部隊長随筆
  - ・先任上級曹長雑感
  - ・各部隊優秀隊員紹介
  - ・結婚紹介
  - ・出産紹介
  - ・編集後記

大久保駐屯地広報紙  
「やましろ」  
令和2年度1 四半期号  
No. 9

「桃友会会長に就いて」

まずは、前会長の井上様には10年の永きにわたる本当にお疲れ様でした。桃友会会長を拝命し、大久保駐屯地の充実発展に物心両面から支援して、更なる発展に寄与することを、まずはとお喜び申し上げます。

その概要は、90名の会員により、駐屯地行事等を支援するほか、京都府殉職隊員慰霊の碑と宇治上神社の清掃奉仕活動及び駐屯地内の桃友園の整備などを行っています。会員相互の親睦を深めることです。

現在、世界中で新型コロナウイルスに悩まされていますが、世界中の人類がこの困難を乗り越えるのには協力させる事が、試されているのではと考えさせられます。身近に考えれば、困っている方に手助け出来ませんかという事ではないかと思えます。まさに、自衛隊はその手本のようなものです。

改めて、自衛隊で体力・気力を身につけて頂いた事に感謝し、現在の自衛隊で勤務される皆さんを少しでも応援する事で恩返し出来ればと考え、隊員皆さんの応援団として、これからも縁の下から静かに応援してまいります。そして、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新 大久保駐屯地桃友会  
松田 篤彦氏 就任 会長

## 大久保駐屯地 Twitter 開設

フォローお願いします!

フォローする

陸上自衛隊大久保駐屯地  
@jstf\_ma\_okubo

陸上自衛隊大久保駐屯地の公式Twitterです。部隊の活動状況、日本の訓練風景、隊員の様子を発信していきたいと思っております。

◎ 京都府 宇治市 区野町 風居外 1-1 大久保駐屯地 mod.go.jp/gsdf/mae/4eb/4...  
■ 2020年4月からTwitterを利用しています

大久保駐屯地Twitterのトップ画面

大久保駐屯地は、新たに、4月よりツイッターを開設しました。駐屯地所在部隊等の活動状況、日常の訓練風景、隊員の様子を発信していきます。普段見ることのできない陸上自衛隊及び大久保駐屯地の活動状況を配信してまいりますので、たくさんの方々のフォローをお願いいたします。

登録には、左のQRコードをご利用下さい。

大久保駐屯地Twitter QRコード

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 大久保駐屯地夏まつり中止

大久保駐屯地は、例年8月上旬に開催してまいりました大久保駐屯地夏まつりについて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場が狭いまま開催の安全を第一に考え、大久保駐屯地創立記念行事に引き続き、中止とさせていただきます。

隊員一同開催に向けて調整・準備をしてまいりましたが、新型コロナウイルスの状況を鑑み、苦渋の決断をせざるを得ない状況となりました。大久保駐屯地夏まつりを楽しみにお待ちいただいていた皆さまに対しまして、大変申し訳なく思っております。今回の判断にご理解賜りますようお願い致します。

来年度開催の際は、皆様のご来場を隊員一同心よりお待ちしております。

## 1 / 四半期号 トピック

2等陸士 菅野 匠

ナンバーワン隊員

1 四半期号のトピックでは、第15期一般陸曹候補生課程(前期)教育第4区隊1班の菅野2士を紹介いたします。菅野2士は、基本教練判定、89式小銃分解結合判定、歩哨訓練判定、体力判定において、全てナンバーワンの成績により優秀隊員に選ばれました。

優秀隊員となった菅野2士は、「日々全力で訓練、服務に励んでまいりましたが、前期教育課程の約3カ月を通して一人では困難なことも同期と協力することで乗り越えられる事が分かりました。その達成感、充実感はこの中で忘れられない大切なものとなりました。これから後期教育が始まりますが、前期教育で学んだ事を忘れることなく活かしていきたい、日々精進して行きたいと思っております。中隊長をはじめ要員の皆様、この3カ月間私達のために教育をいただいた大本営にありがとうございます。」とコメントしました。



# 各 部 隊 訓 練 等 記 事



障害構成（橋梁破壊）



隊容検査における  
12・7mm重機関銃の射撃点検



新爆破訓練場付帯設備補修整備



障害構成適地拡張整備



07式機動支援橋の架設



師団指揮所の構築



TK射座取付道整備



幹線道路整備

令和2年6月12日（金）から21日（日）までの間、第1次師団訓練検閲に参加し、あわせて第1次大隊訓練検閲として、第1中隊、第2中隊及び渡河交通小隊の訓練検閲を実施しました。

12日（金）に大久保駐屯地において隊容検査を実施し、人員点検、車両点検、各種部隊装備火器の取り扱い、特殊武器防護及び救急法の練度確認を行い、隊員の訓練検閲に対する姿勢を確認しました。

15日（月）から演習場に前進を開始し、第1中隊はあいば野演習場で第7戦闘団に配属され、連隊指揮所の構築及び障害構成（地雷原構成及び橋梁破壊）を実施しました。

また、第2中隊及び渡河交通小隊は青野ヶ原演習場にて師団指揮所の構築、障害構成、師団各部隊の陣地構築及び07式機動支援橋の架設を実施しました。

今訓練検閲は猛暑の中で始まり、途中、豪雨の降る悪条件で実施されましたが、各中隊等は任務を完遂し、師団の任務達成に寄与するとともに、じ後の訓練の資を得ました。

## 第3 施設 大隊

令和2年4月13日（月）から22日（水）までの間、長池演習場、長田野演習場、信太山演習場及び日本原演習場において、令和2年度方面隊統制演習場春季整備を実施しました。

第380施設中隊整備隊は、弘田1尉を核心に、「任務完遂+α、無事故、無損耗」を要望事項に掲げ、長池演習場において障害構成適地拡張整備及び新爆破訓練場付帯設備補修整備を実施しました。

第381施設中隊整備隊は、中本1尉を核心に、「安全管理」を要望事項に掲げ、長田野演習場の幹線道路及びヘリポート構築位置・道路崩落箇所等の作業を実施するとともに、信太山演習場の幹線道路整備を実施しました。

第382施設中隊整備隊は、赤松2佐を核心に「任務の完遂」「管理の万全（保全・安全・健康）」の2点を要望事項に掲げ、第13旅団が担任する日本原演習場においてTK射座取付道整備を実施しました。

各中隊員が一丸となり、無事任務を完遂する事が出来ました。

## 第7 施設 群



砂防堤建設工事



作戦会議



集結地進入



命令下達



射場整備



南中道拡幅工事



隊員による車両誘導



対空対処行動により車両分散

令和2年4月13日（月）から20日（月）までの間、令和2年度前期長池演習場整備（長池整備隊長 野上2佐）を実施しました。

参加部隊は、第102施設器材隊の他、大久保駐屯地所在部隊の一部を併せて総勢153名となりました。

本整備隊において、器材隊隷下の架橋中隊は、演習場内を流れる長谷川に対する砂防堤の建設工事を豪雨の合間を縫って、川のバイパス工事を並行して実施しました。これは、川底の洗堀を防止する為に計画され、令和元年度より3期にわたり実施し、今年度（11月）予定の工事をもって完成します。

また、同隷下の特殊器材中隊は、南中道の拡幅工事を実施し、道路拡幅及び排水整備により、平成29年前期整備以来3年間にわたる整備を完成させました。その他、射場の維持管理の為に、夏のような暑さと冬のような寒さの中、約7日間に及ぶ整備期間でしたが、突然の豪雨にも負けず、1件の事故もなく任務を完遂しました。

## 第102 施設 器材 隊

本部隊は、令和2年6月10日（水）から12日（金）までの間、大久保駐屯地及び長池演習場において実施された、第2回大隊集中訓練に参加しました。

隊は、長池演習場において、警戒自衛戦闘要領について一連の行動を演練して、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作の練度向上を図りました。特に、行進間における航空攻撃時の対空対処行動として、一定の車両距離間隔を維持しながら行進し、航空攻撃の連絡を受けた後は、速やかに通信機と警笛を旗により周囲に伝達しつつ広く分散し、まためて攻撃されないよう行動いたしました。次に、車両行進時における対空の対処として、地上の敵からの攻撃への対処として、通信機と警笛により周囲に知らせるとともに、第一に回避を追求し被害の最小化を目指しました。これらを繰り返して演練し、最後は集結地進入を実施しました。

今年度（11月）に予定されている、大隊受閲の訓練検閲に向けて、隊と隊員の練度向上を図ることが出来ました。

## 第104 施設 直接 支援 大隊



第 4 施設 団 本 部 付 隊



車両の偽装



命令下達

令和2年5月21日(木)から22日(金)までの間、#2隊野営訓練を長池演習場にて実施しました。

本訓練は、敵状況下における行進、宿営、偵察班及び通信班による電波地誌調査を実施しました。特に、行進、宿営においては、各種敵情に対して、事前に示した計画に基づき、適切な警戒、防護の処置が実施出来ているか確認することを目的に行いましたが、やや改善すべき事項はあるものの、所望の練度を得ることが出来ました。

偵察班及び通信班の電波地誌調査においては、各班を連携させ京都府南部の電波地誌調査を実施し、第4施設団の災害派遣活動及び物資の輸送任務における通信の未到達エリアを掌握し、中継位置選定の資を得ることが出来ました。また、通信班の陸士隊員の有線構成の練成の場として、隊本部指揮所から通信所及び歩哨壕までの有線構成組長を実施させ、指揮・指導能力の向上を図りました。

隊本部においては、隊本部指揮所及び炊事所を開設し、指揮機関及び野外における炊事能力の向上を図りました。

本訓練1件の事故もなく所望の成果を得ることができ、今後の練成訓練及び隊員の練成要領の資を得ることが出来ました。

第 3 0 7 ダンプ 車 両 中 隊



射撃用意!



ダンプトラックによる砂利運搬

令和2年4月13日(月)から22日(水)までの間、方面隊統制演習場春季整備に、あいは野・日本原各演習場整備隊施設整備隊として参加しました。

各人が研究心をもって練度向上を図るとともに、整齊かつ安全なダンプ作業に努め、特大型ダンプ10両により、2530立米の砂利の運搬を実施しました。

新型コロナウイルス感染症が日本国内においても、猛威を振るる渦中での作業でありましたが、隊員各人が個人の健康管理や感染症リスク回避を徹底し、事故・傷病者ともにゼロで任務を完遂しました。

また、梅雨入り近づく貴重な青空の下、6月2日火から4日(木)までの間、長池演習場において、攻撃支援するダンプ小隊の行動について、第2小隊訓練機関を実施しました。受閲部隊の気迫みなぎる隊容検査に始まり、主に障害処理、70式地雷原爆破装置による人員通路の開設任務を付与され、寒暖差激しい気候の中、あらゆる手段を尽くして小隊の持てる施設技術能力を最大限発揮しました。中隊長要望事項である「積極支援(戦間必携の実践)」を状況開始より隊員一丸となって具現化し、所命の任務を遂行しました。

大 久 保 駐 屯 地 業 務 隊



官舎地区外柵沿い (作業後)



官舎地区外柵沿い (作業前)

方面隊統制演習場春季整備期間(4月13日(月)から22日(水))において、業務隊の環境集中整備日を設定して官舎地区の整備を実施しました。

昨年、官舎地区において、60年に一度と言われている竹の花が一斉に咲く珍しい現象が起きました。

竹は、花が咲くと一斉に枯れることで知られていますが、枯死した竹が長雨により官舎地区の生活道路や、隣接する鉄道にしがみつき、倒壊の危険を生じました。

このため、今年には、官舎地区の生活環境悪化の解消及び隣接する鉄道への被害未然防止を図ることを目的に、梅雨の時期を前にして枯死した竹林の伐採を実施しました。

竹の成長は早いことでも知られていますが、大久保駐屯地業務隊も令和に生まれ変わるタケノコに負けないよう、業務に邁進してまいります。

第 3 後 方 支 援 連 隊 隊



集結地へ前進開始!



隊容検査

令和2年6月15日(月)から20日(土)までの間、あいは野演習場及び青野ヶ原演習場において第3師団が実施する令和2年度第1次師団訓練機関を受閲しました。

本機関は、師団の陣地防衛における第3後方支援連隊の行動を機関課目として実施されました。

当初あいは野演習場において師団統制のもと隊容検査が実施され、人員・車両点検及び機能別点検(第1線救護、小銃の故障排除、通信器材の取り扱い)が行われ、各人の準備状況及び機関に臨む士気の高さを確認しました。

また、全隊員が連隊長要望事項「勝及隊長要望事項」積極支援、安全管理を具現すべく、日頃から積み上げてきた練度を遺憾なく発揮し、5夜6日におわたる環境、雨の中で泥濘化した厳しい環境下において、強固な陣地を構築し、師団の施設器材の整備部隊として各任務を遂行し、第3後方支援連隊の任務達成に貢献しました。

第 3 1 8 基地 通信 中 隊 大 久 保 派 遣 隊



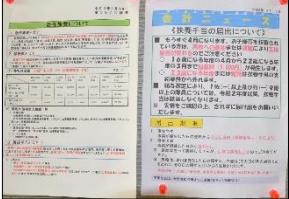
状況下での無線交信訓練



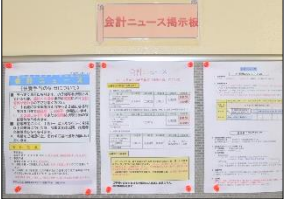
周囲を警戒する隊員

令和2年6月22日(月)から25日(木)にかけて、今年度の最大目標である総監訓練機関受閲に向けての、第1回中部方面通信群集中訓練に参加し、システム通信組織の構成・維持・運営、部隊の基本的行動、隊員の基礎動作について演練し、所要の成果を得ることが出来ました。指揮・統制の命脈として常態断続の通信を維持・運営するため、基地・野外部隊が一致団結し、駐屯地相互間及び離隔して行動する部隊等のためのネットワークの構築、電話・電話サービス等の通信を良好な状態でユージーに提供するため、派遣隊長以下12名の少数精鋭は、自らの持ち場を守り、安定した通信を確保し、本訓練の目的を達成することが出来ました。しかしながら、時代はすでに新たな戦局を迎えており、日進月歩で高度化する情報通信技術(ICT)の発展により、インターネットや情報通信ネットワークに対する不正アクセス、コンピュータウイルス等によるサイバー攻撃など、今まさに通信電子領域は外部からの脅威に晒されています。その脅威は外部からだけでなく、隊内のサイバー空間において新たな任務の重要性を強く自覚し、部隊の指揮・統制のための常態断続の通信を確保するため、情報通信技術に対する知識、技術の向上及び訓練を重ねる駐屯地そしてユージーから信頼される基地通信派遣隊を目指し更に努力してまいります。

第 3 9 7 会 計 隊



掲示内容



会計ニュース掲示板

会計隊では、新型コロナウイルスの感染対策として、朝から全員で事務所の消毒清掃を実施し、天井からはオーバレイを吊る飛沫感染防止、勤務については早出遅出勤務を取り入れ、人との接触を可能な限り避ける等の対策を講じてきました。現在、隊員及び家族を含めて健康状態は「異常なし」です。

今回は、「会計ニュース」について少し紹介させていただきます。

会計ニュースは、毎月1回ペースで年度別は12回から14回発行しています。目的は、各部隊長への情報提供と並行して、時機に合わせたニュースを発行して、各部隊・隊員向けに役立つ会計情報を周知することです。そのような内容を発行しているか、一部を紹介したいと思います。

4月「給与改定について」、5月「住民税について」、6月「賞与(6月)について」、7月「赴任旅費について」、8月「各種手当の届について」等を発行しております。見ていただく隊員の皆様は、目を引き、分りやすいと思っております。

現在は、部隊への配布と会計隊事務所前の廊下に掲示しておりますが、掲示箇所を増やし一人でも多くの隊員の皆様が見ていただけるよう頑張っております。



# 部隊長随筆

大久保駐屯地業務隊長  
1等陸佐 永井 和夫



## 「部隊・隊員のために」

「部隊・隊員のために」これは、私の業務隊長としての統率方針である。自衛隊の任務は言うまでもなく、国民の生命と財産を守ることにあり、大久保駐屯地においては有事の際、第4施設団、第3施設大隊等の部隊・隊員を第一線で命懸けてその任務を遂行する事となる。このため、部隊・隊員がいざという時に、最高のコンディションで、また、後顧の憂いなく任務遂行ができる基盤づくりを日頃から実施することが業務隊長の任務であると考えている。具体的には、「快適で満足できる衣食住・福利厚生・医療等の生活・勤務基盤の隊員・隊員家族への提供」及び「部隊の戦闘・戦技能力が維持・向上できる訓練基盤の整備(支援)」である。『言うは易し、行うは難し』である。部隊・隊員の現況・ニーズを確認し、業務隊長業務のあるべき姿を日々思い描き、手立てを考へ、創意工夫をこらしながら実行してみるが、部隊・隊員の士気が劇的に高揚する仕事はなかなか難しい。特に、食事、居住環境等の身近な事項は、極端な話、人の数だけニーズが、しかし、決して諦める事なく、知恵を絞り、創意工夫し、限られた資源(人・物・金・時間・場所)を効果的に使用し、業務隊長と一丸となつて、ひたすら向きに『部隊・隊員のために』頑張つていきたいと考えている。

# 先任上級 曹長 藤 感

第3施設大隊  
最先任上級曹長  
准陸尉 宮崎 毅



## 「規律の維持」

平素から第3施設大隊に対し、格別なる御厚情及び御協力を賜り心から感謝申し上げます。さて本題の「規律の維持」ですが、現在、施設大隊は毎月初めに上級曹長朝礼を行い、曹士隊員に対して目標や服務など時期の特性に合わせて訓話しています。最近では、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛から外出緩和となり、新しい生活様式のもと隊員個々の自覚が更に必要であることを話しました。緊急事態宣言期間中は通達に基づき、部隊の強制力を持つて外に出制限し、感染対策を講じていました。現在では、外出緩和となつても、感染対策を講じつつ行動することが必要となります。要は、規則規律での行動制限(外的規範)から、より自律する心や行動等(内的規範)が重要と考えられています。現在、大隊については若い隊員が多いこともあり、引き続き、上級曹長朝礼、服務教育及び服務指導等を通じて、規則規律の意味を理解させつつ、自ら強く律する内的規範の高い隊員を育てて行きたいと考えています。

# 各部隊優秀隊員紹介

## 第7施設群 令和元年度群ナンバーワン戦士

本部管理中隊 北野 1曹	本部管理中隊 平石 3曹	第381施設中隊 天川 3曹	第382施設中隊 山田 士長	第382施設中隊 高柳 2曹
体力検定(30代の部) 300/300	体力検定(10・20代女性の部) 247/300	体力検定(10・20代男性の部) 289/300	基本射撃(陸士の部) 43/50	基本射撃(陸曹の部) 46/50

第381施設中隊 近藤 3曹	第382施設中隊 野上 2曹	本部管理中隊 宅間 1曹	第381施設中隊 北岡 2曹
TOEICの部 530/990	体力検定(50代の部) 242/300	体力検定(40代女性の部) 269/300	体力検定(40代男性の部) 298/300

令和元年度第7施設群のナンバーワン戦士が決定しました。ナンバーワン戦士とは、自衛官として任務を遂行するために必要な識能・技能に關し、第7施設群で最も優秀な成績を獲得した隊員です。

# 結婚 おめでとうございます

部隊名	隊員階級・氏名	妻名前	入籍日
第4施設団本部付隊	2等陸曹 江森 大輔	菜々絵	2月29日
第318基地通信中隊 大久保派遣隊	3等陸曹 廣川 勇輝	絢 乙	6月5日

# 新しく家族が増えました

部隊名	隊員階級・氏名	母親の名前	子供の名前	誕生日
第7施設群(群本部)	1等陸尉 吉田 大祐	佑 果	陸 人(りくと)	6月16日
第7施設群(本管)	3等陸曹 志賀 一也	泉	葉 月(はづき)	5月30日
第7施設群(380)	3等陸曹 津山 翔太	友 美	怜 大(れお)	5月4日
第7施設群(381)	3等陸曹 千載 勇	晴 香	木 春(こはる)	4月19日
第7施設群(382)	3等陸曹 尾下 博昭	彩 花	晴 紀(はるき)	4月7日
第397会計隊	3等陸曹 池田 昌俊	奈 美	彩 春(いろは)	3月30日

**編 集 後 記**

大久保駐屯地広報紙「やましろ」を「愛読の皆様、いつもありがとうございます」といいます。新型コロナウイルスの感染者が未だ発生する中、感染拡大の状況を鑑み、大久保駐屯地創立記念行事、駐屯地夏まつりは中止となりました。そんな中、大久保駐屯地として感染症対策を万全にしており、未だ1名も感染者が出ておらず、今後も気を緩める事なく、隊員一同訓練等に邁進して行きます。「やましろ」を「愛読の皆様におかれましても、新しい生活様式を実践しつつ、これからは暑さも厳しくなり、くれぐれご自愛ください。私個人としては、大久保駐屯地吹奏楽部長になって3年を迎えようとしています。今後、駐屯地所在隊員及び地域の皆さまに愛され、癒しのある音楽を届けて行けるように日々練成して行きたいと思っております。最後に今年度も引き続き、大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対してのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。(司令業務室 丸山2曹)

第3師団 最先任上級曹長 顕彰	第3師団長 褒賞
鈴木 士長	國澤 2曹

令和2年6月15日(月)から20日(土)までの間、あいはら野演習場及び青野ヶ原演習場で実施された、第1次師団訓練検閲を受閲し、國澤2曹が「施設機械整備陸曹」として、第3後方支援連隊の任務達成に貢献した功績により第3師団長褒賞を鈴木士長は、師団段列の歩哨として、部隊の目として厳正に勤務し、部隊の任務達成に貢献した功績により第3師団最先任上級曹長顕彰をそれぞれ受賞しました。

# 第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊優秀隊員